

平成 28 年度活動報告

期間：2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

1、活動基本方針の明確化

NPO アエソンは、活動の基本方針を明確にするため、ブランディングに取り組み、アエソンの理念、役割、行動指針について検討を重ね、以下のような活動方針を確認しました。

理念（アエソンのめざすもの）

障害のある人もない人も一緒に考え、あゆめる社会

障がいのある人たちもない人もともに考え、話し、それぞれの想いがく未来に向け、一步一步自ら前進していくことができる—NPO 法人アエソンは、そんな人たちにあふれる社会、そんな機会がたくさんある地域を、兵庫県播磨町からめざしています。

役割（アエソンの役割）

私たちは、あなたが力を活かせる「環境」をととのえます

障がいのある人の力が引き出される場やきっかけをつくる、地域での暮らしを支える人たちがともに協力しあえるようにする、地域全体が未来に向けてつながり、力を活かしあえる仕組みを準備する—。当事者自身から地域全体まで、気持ち、場、体制、仕組み、ネットワークなど障がい福祉に関わる様々な「環境」を、当事者意識を大切に、それぞれの力が活かせるようにととのえます。障がい福祉のあらゆる「調整役」、それが私たちアエソンの役割です。

<当事者支援> 地域活動支援センターライズアップ+ 事業

障がいのある人があなたらしく力を発揮できる「環境」をととのえます

<暮らし支援> 相談支援事業所 ライズアップ 事業

障がいのある人一人ひとりの暮らしのために力を活かす「環境」をととのえます

<地域支援> 播磨町地域自立支援協議会 地域のネットワーク・基盤整備 事業

障がい福祉のこれからを一緒に考え、動きだせる地域の「環境」をととのえます

アエソンの行動指針

一緒に考え、一緒にあゆむ、障がい福祉の「調整役」

誰にでもわかりやすく、誰からも話しやすく

あなたに信頼され、あなたを信頼できる私でいる

想いに耳を傾け、想いに寄り添う

わくわくした気持ちで、わくわくする未来を一緒に考える

磨いてくれるあなたに感謝し、磨きあゆみつづける

2、平成28年度の事業別活動報告

(1) 地域活動支援センター ライズアップ+

<強化事業>

公開講座① 「地域で暮らしていくために 人との距離感について」 2016年9月24日(土)



地域でみんなと一緒に暮らしていくための「コミュニケーション」についてのソーシャルスキルトレーニングに重点を置いた取り組みを行いました。

9月24日(土)に神戸市看護大学の藤井ひろみ先生をお招きして、『地域で暮らしていくために 人との距離感について』の講座を開催いたしました。事前に先生より「線香と打楽器と新聞紙を用意してください」と言われた時は、スタッフも何をするか想像がつかなかったのですが、講座が始まるとそれらのものが講座の中でしっかり使われていて「なるほど!」と驚き。参加されたみなさんもドキドキしながらも楽しく参加されていました。

自分のことを自分でみつめることは難しいことですが、今回の講座を通して「あ、これって僕の(私の)ことかな?」、「自分はこんな風に周りの人に見られているのかもしれないな」という気づきも多かった講座になったのではないかと思います。

公開講座② ひきこもりや不登校の問題を抱える家族への支援講座 2016年10月7日(金)

10月7日(土)京ロスコラカウンセリングセンターの須田泰司先生(臨床心理士)をお招きし、「ひきこもりや不登校の問題を抱える家族へのアプローチ」をテーマに、民生委員、児童委員、ひきこもりの相談等に携わる支援者、公的機関(福祉・保健・医療・就労・教育等)の職員等を対象に、地域の支援者として、ひきこもっている人やそのご家族にどのようなことができるのかを考える講座を開きました。



ふれあいフェスタ 2016年7月9日(土)

東はりま特別支援学校の生徒や障害のある人と地域住民の交流を目的とした「第9回ふれあいフェスタ」を7月9日(土)に地域活動支援センター ライズアップ+がはりまデザインラボとの共催で行いました。当日は、雨天のため「ふれあい市」を校舎内でおこなうなど内容を一部変更しましたが、約700人の方に来場頂きました。ライズアップ+も模擬店を出し、小物の販売を行いました。





はりまデザインラボとの共催で光のアートフェスタを行いました。今年は、ライズアップ+もクリスマスソングと「365日の紙飛行機」を歌い出演しました。和太鼓とファイヤーダンスのコラボや二胡の演奏、津軽三味線や播磨南高校の演奏などを楽しみました。今年は熊本で大きな地震災害があったので、くまがプレゼントを持った絵を播磨南高校の生徒さんたちがキャンドルで表現してくれました。

ふらっと 2016年8月スタート

8月より「ふらっと」というお部屋ができました。

ふらっとお越しただいて、自分のしたいことをしていただくためのお部屋です。

「生活リズムを整えるためには毎日行きたいけれど、今日のプログラムはまだ苦手で…」

という方に、本人活動をしていただけるお部屋です。

みなさんの意見を伺いながら気楽に来ていただける場所になればいいと考えています。

個別相談日 毎月1回開催

臨床心理士の中田眞里先生に個別相談を行っていただいています。ライズアップ+の皆さんやそのご家族、職員また地域の福祉サービス事業所の方等に利用していただいています。

その他

トライやるウィーク、清水高校のインターンシップ受け入れを行ないました。

<基本事業>

模擬店出店活動



風薫るフェスタの模擬店 2016年4月29日

大中遺跡祭りの模擬店 2016年11月5日

模擬店出店に向けて、コイマカロン型コインスやコースター、クルミボタン、シュシュなどの小物づくりやスカーフや手提げ袋の草木染に取り組み、できた品をかわいくパッケージし販売しました。

避難訓練に参加



東はりま特別支援学校での避難訓練に加え、1月13日福祉会館までの要援護者避難誘導訓練、2月25日播磨小学校避難所運営訓練ならびに福祉避難室、福祉避難所開設訓練に参加しました。防災頭巾や職員のヘルメット、上下の作業服などを順次整備しています。

加古川ツーデーマーチの通過地点スタッフ押しボランティア 2016年11月13日(土)



11月13日(土)加古川ツーデーマーチのスタンプボランティアとして、利用者のみなさんと参加してきました。昨年は雨でしたが、今年はとてもいい天気ウォーキング日和。長い時間かけて歩かれているみなさんに笑顔で「おつかれさまです！」と声掛けられていました。その姿を見ておられたツーデーマーチ運営スタッフの方から、「すごくよかった」とお褒めの言葉をいただきました。

かな美文字展 2016年4月9～10日、
6月11～12日



山野草展と同時開催のかな美文字展に、作品を展示しています。毎月福田先生が開かれている美文字教室にも参加し、日ごろの練習の成果を作品として年2回のかな美文字展に出しています。毎回300人近い地域の方々に来場いただいています。

ユニバーサルスポーツ交流大会 2017年3月26日(土)



構成メンバーとして参画している播磨町障害児者スポーツ振興協議会主催のユニバーサルスポーツ交流大会で、播磨町のマスコットキャラクターいせきくん・やよいちゃんと一緒に、ゆうあい園の皆さんとライズアップ+が「はりま☆土器ドキ☆ダンス」を踊りました。地域の皆さんとグループになって、シッティングバレーやさまざまなスポーツ体験を楽しみました。

その他

- ・絵画教室、かな美文字教室、季節のお楽しみ創作、歯科衛生指導、調理などプログラムを充実させました。
- ・町内の社会資源を知る、実際に利用してみることを目的に外出をしました。
- ・利用者さんの個別支援計画の作成、モニタリングをご本人とご家族と面談の上行いました。
- ・サービスの標準化や記録の効率化、ライズアップ+通信の毎月発行、ブログによる公開の充実を図りました。

(2) 指定相談支援事業所 ライズアップ

身体・知的・精神・難病の方の成人と子どもを対象とした「特定相談支援」「障害児相談支援」「一般相談支援（地域移行・地域定着）」の指定を受けています。現在、地域移行・地域定着については、利用はありません。

	平成 27 年度	平成 28 年度
成人	68 人	64 人
子ども	58 人	65 人
計画作成	160 人	164 人
モニタリング	358 人	280 人

日本相談支援専門員協会・兵庫県相談支援ネットワーク・東播磨相談支援者チーム支援ネットに加盟
 播磨町地域自立支援協議会のくらす部会と支援者チーム会議、ワークショップ 出席
 稲美町自立支援協議会 くらし部会 出席
 東播磨相談支援者チーム支援ネットの研修に出席
 65 歳高齢障害者の支援をつなぐ 播磨町包括支援センターと相談事業所の初回合同研修出席

(3) 播磨町地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務

- ・障がいのある人が地域で安心して生活できる地域福祉をすすめるため、課題解決に向けて、町内外のさまざまな地域資源をつなぐ調整や、作業部会の運営、コーディネート等を行う地域支援ネットワーク構築業務を誠実に取り組みました。
- ・推進会議と全体研修を別日開催で、推進委員会全員に発言いただける活発な会議になりました。
- ・障害者計画、障害福祉計画の作成に向けて、これからの播磨町を考えるワークショップを開催しました。
- ・全体研修 又村あおい氏「差別解消法」立木茂雄氏「防災」のテーマで行いました
- ・播磨町地域自立支援協議会のホームページの充実をはかりました
- ・3市2町地域自立支援協議会連絡会の初会合に参加しました。

(4) ファイザー助成金事業 (2016年1月～2016年12月)

ファイザー(製薬企業)のく心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援助成を受け、新たなネットワークを構築しながら、障害のある子どもとその家族の支援プログラム2年目に取り組みました

6月に中間報告、7月ヒヤリング、9月継続助成に向けた本社でのプレゼンテーション、2017年1月実績報告を完了しました。障害のある本人へより良い支援が届くようにするためには、家族支援と支援者のスキルアップが不可欠と考え、〈家族のエンパワメント〉〈支援者のパワーアップ〉の仕組みづくりに取り組みました。ファイザープログラム実施にあたっては、播磨町健康いきいきセンター指定管理者:株式会社 linkworks や NPO 法人シミズシーズ、東播磨相談事業者チーム支援ネット等と事業を通じて新たなネットワークを構築し、共催事業としてすすめました。

継続3年目申請を行いました。残念ながら2017年度については不採用でした。あと1回の継続申請ができます。2年目の活動として、そだつマップ作りに3年計画で取り組み、第1弾30か所分は出来上がりましたが、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所が急増したこと、3年目申請が今回不採用になったことにより、残り30件分が仕上がっていません。

〈家族のエンパワメント〉

【1】①毎月のランチ会 (Bubuと名前が決まりました)

就学前後の発達に気にかかるお子さんのお母さんたちが、自分の話を聞いてもらい悩みを語り、お母さんたちの集いの中で、お母さん自身が元気を回復していく場を提供しています。

②個別相談会(毎月実施)

お母さんたちの悩みや困りごとを臨床心理の先生に個別相談できる場も提供しています。

③そだつマップ作成(第1弾完成)

就学前後の発達に気にかかるお子さんのお母さんたちが、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所を訪問し、お母さんたちが今知りたい情報を自分たちで集めて、事業所毎にシートまとめていく〈そだつマップ〉づくりに取り組みました

【2】家族支援講座

「発達障害疑似体験」ぴーす&ピース 2016年9月5日(月)

「知ってほしい!もっと知ろう!見え方・感じ方～自閉症・発達障害のある子どもたちの理解のために～」と題した講座を開きました。

たつの市手をつなぐ育成会ぴーす&ピースを講師にお招きし、就学前後のお子さんのお母さんたちに、自閉症や発達障害のある疑似体験してもらいました。



「先輩ママの子育てに学ぶ集い」 2016年12月6日(火)



話し手 近野悦子さん 聞き手 柏木輝恵さんの対談形式で、今回はお子さんが生まれた時から、就学までの子育て体験の具体的なお話をしていただきました。

参加者の皆さんにも、子育ての悩みや先輩ママに聞きたい子育てについての質問をグループで話し合ってもらいました。



【3】家族が元気になるコンサート2016 (ブラジル音楽とサンバ) 2016年6月5日(土)



障害のある人もない人も一緒にサンバを楽しんで、元気なってもらいたいとの願いからコンサートを2年連続で行いました。Bubuのお母さんたちも運営スタッフとして活躍しました。

<支援者のパワーアップ>

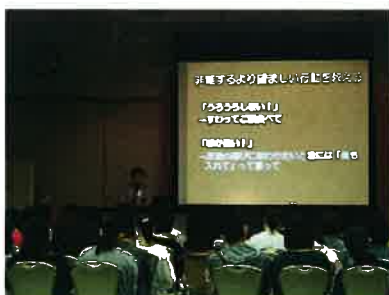
【1】①発達障害のある子どもの支援ミーティング

NPO アエソンと播磨町健康いきいきセンター指定管理者：株式会社 linkworks の共催で支援者のパワーアップをめざし、支援者同士の交流や情報共有できる場の提供として取り組んでいます。

第3回目 2016年5月15日(日)

「感じ方の違いに気づいていますか？」～発達障害のある子どもの理解と関わり方～

講師：岩永竜一郎氏(長崎大学大学院准教授)



第4回目 2016年11月23日(祝)

「遊びとスポーツ 体を動かすことを通じて伸ばす力」

講師: 森嶋 勉氏(NPO法人チットチャット副理事長)



【2】ブラッシュアップ研修 2016年7月22日

シミンズシーズの柏木輝恵氏を講師に招き、『私は何をやる人だろう～自分の仕事を見つめなおして明日からの力へ～』のテーマで研修をおこないました。

相談員同士の顔の見える関係づくりとパワーアップを目的とした場を提供しました。



(5) 播磨町権利擁護まちづくり委員会への参画

- ・ 播磨町権利擁護まちづくり委員会の構成メンバーとして、毎月の定例会に出席し、権利擁護支援センターについて検討を重ねています。
- ・ 啓発講演会に参加 2016年12月2日桂ひな太郎氏「後見じいさん」福嶋弁護士・濱口氏とのトーク
- ・ 権利擁護支援員養成講座「障害者差別解消法について」の講師を政本が担当

(6) その他、目的の達成に必要な事業

福祉職員人材研修事業

組織基盤強化として、シミンズシーズと契約を結び、アエソンのブランディングに取り組みました。

毎朝の連絡調整会議、毎月1回職員全体会、地域活動支援センターのカンファ、相談支援事業所のカンファを行ない、記録を书面で残し、共通認識のもとに職務を遂行しています。2016年5月23日、NPO NGO組織基盤強化の研修会でアエソンブランディング取組の途中経過を報告しました。

ブランディングで確認したアエソンのめざす社会を、職員も経営者視点を持ち、目標に向かって意志を一つにし達成していくために、2017年2月より戦略会議を開催し、事業毎の現状課題と2017年度の事業計画作成に取り組んでいます。

さまざまな研修会に参加し、職員のスキルアップと情報収集を図っています。別紙参照

3、法人の運営

(1) 理事会

①2016年5月23日 理事会・総会

2015年度活動報告、活動計算報告、2016年度活動計画、予算審議、任期満了に伴う役員選出代表理事の法務局登記、ファイザーの経過報告と今後の方針について検討

②2016年8月19日 理事会

経営者大型総合保障制度企業保障プラン総合型VLタイプ保険加入、常勤役員災害補償規定、常勤役員退任手当規定の制定について

③2017年2月28日 理事会 ブランディングの現時点のまとめ報告 ファイザーの実績報告と今後職員の働き方と相談件数、播磨町の相談事業所が廃業になった報告 戦略会議の運営について

④理事事務局会議 2016年7月29日 植田理事・萬代理事・政本理事 ファイザー3年目申請

⑤理事事務局会議 2017年3月24日 植田理事・萬代理事・政本理事 職員人事について

(2) 監査

①毎月、監事による会計監査実施。2016年度決算報告の監査 2017年5月12日

(3) 総務

1、職員全員の運転免許証のコピー提示を毎年4月初旬実施しています。

2、税改正、社会保険及び雇用保険料率の変化があるときは、全体会で報告、説明を行っています。

3、労働災害保険以外に、通年AIU保険の業務災害保険と播磨町の交通災害共済に加入しています。